

## 「クマと共生し安全に自然体験するための研修会」を開催

ボーイスカウト広島県連盟では6月21日(日)、JMS アステールプラザにおいて、「クマと共生し安全に自然体験するための研修会」を開催しました。

2026年8月の大規模キャンプ(日本ジャンボリーの開催を控え、クマを知り、安全にキャンプをするための研修です。

研修会の講師には兵庫県から望月義勝先生をお招きしました。望月先生は、宝塚動植物園の勤務経験に加え、現在は東中国クマ集会に所属され、クマの生態に大変詳しい先生です。また、兵庫県勤労者山岳連盟副理事長も務めておられる山好きとあって、ボーイスカウトにとって参考となる点が多い講演となりました。

**クマと共生し**  
**安全に自然体験**するための  
**研修会**

開催日 **2026年6月21日(日)**

クマの生態を知る

出会わないための対策

安全なキャンプのために

正しく知って、備えて、  
**安心・安全な自然体験を!**

自然を楽しみながら  
**クマとも共に生きる**  
**未来へ**

主催者：ボーイスカウト広島県連盟

望月先生の講演内容としては、

① クマの生態

・クマの大きさ、クマの 1 年間の生活、クマの食べ物、クマの住処について、クマの毛皮(写真)や頭蓋骨(写真)なども使いながら説明され、クマを実感することができました



② クマとあわないために…

・クマのフィールドサイン(証跡)として、足跡(写真)、糞、クマ棚、爪痕などを説明されました。特に短期間しか存在しない足跡や糞が残っている場合は、クマが近くにいる可能性があるため、速やかに引き返しましょう

・子グマの近くには母グマがいます。子グマを見かけても、近づいたり、写真を撮ったりせずに速やかに安全なところに引き返しましょう。

・山に入る時、クマと出会いそうな場所に近づく時は鈴や音のなるものを持って行きましょう。クマは耳が良いです。

・行動する時は、複数人数で、声を出しながら

・早朝、夕方の行動は控えましょう



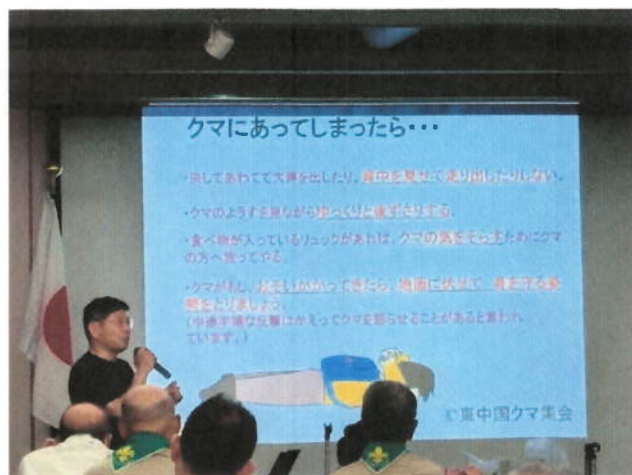
### ③ キャンプ地での注意事項

- ・茂みの近くは避けましょう
- ・食べ物はテント内に入れない
- ・食べ物は匂いを出さないように、しっかり梱包しましょう
- ・調理・食事は 100m程度離れたところで行う
- ・食器はしっかり洗い、洗いは地面に捨てない
- ・ジュース缶などを捨てない
- ・歯磨き粉、日焼け止めなども匂いを発するものとして要管理
- ・クマ対策専用のごみ箱があれば、そこへ投棄



### ④ クマに会ってしまったら...

- ・決して慌てて大声を出したり、背中を見せて走り出したりしない。
- ・クマの様子を見ながらゆっくりと後ずさりする。
- ・クマがもし、襲いかかってきたら、地面に伏せて身を守る姿勢を取りましょう。(中途半端な反撃はかえってクマを怒らせることがあると言われています)



今回の研修会は、兵庫県から望月先生に来ていただき、貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございました。参加者からは「大変勉強になった、もっと聞きたかった」という声が多数聞かれました。